平成 30年　2月 18日

研修報告書

氏名：竹内　千仙

所属：東京都立北療育医療センター神経内科

研修期間：平成　30年　5月　1日　～　平成　30年　3月　31日

研修場所：東京女子大学遺伝子医療センターゲノム診療科

受講動機：私の勤務先の東京都立北療育医療センターでは、小児期発症の疾患や、神経変性疾患の患者が多く、神経内科専門医として主に成人後の患者さんの診療を行っています。遺伝性神経変性疾患の発症前診断などの高度な遺伝カウンセリング、さらには神経領域以外の遺伝カウンセリングや、最新の遺伝学的検査の技術、最先端の治療の実際を学びたいと思いインテンシブコースの受講を希望し、昨年度より延長させていただきました。

研修内容：遺伝カウンセリング外来陪席（第1・3・5火曜日午後）

 カンファレンスの出席

研修成果：35例のカウンセリングに陪席させていただくことが出来、成人の神経疾患2例では、カウンセリングを担当させていただきました。出生前診断、筋ジストロフィー、家族性腫瘍、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群、結合組織疾患、骨系統腫瘍、先天奇形症候群など、非常に幅広い疾患を経験することが出来ました。

その他（感想・要望・反省点、等）：

　隔週午後のみの研修でしたが、様々な領域について学ぶことが出来、また、神経疾患のカウンセリングの担当もさせていただいたことは、とても有意義でした。インテンシブコースは、常勤先の仕事を続けながら高度な知識やスキルを学ぶことが出来る点が最大のメリットと感じております。不定期な研修となりご迷惑をおかけした部分もありましたが、快く引き受けていだき、とても感謝しております。また、この制度を通じて他大学の専攻生、インテンシブコース受講の先生方との横のつながりも出来ました。これらの経験を、今後の自身の診療に活かしていきたいと思っております。